



ID: 1308

科目名	建築計画 I 【26年度生用】			コード			
英語表記	Design Principles of Architecture I						
担当教員名	東 孝次			年度	平成26年度		
基準年次	2年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態	講義	授業形式	面前	履修形態	必修		
授業概要							
<p>建築の企画・計画・設計という営みを支える基本的な考え方は、「建築とそこで展開される人間の生活行為との関係」にある。建築計画はこの考え方を鍛えるための学問である。すなわち、建築を設計するための理論と手法を体系化した学問が建築計画学である。同時に最終的な設計につなげる実践的な内容も併せ持った科目でもある。本講義では、建築を学び始める導入部として、建築に関わる基本的な事項について概観する。</p>							
到達目標							
<p>(1) 建築にかかわる様々な課題を認識し、計画する手がかりを取得する。(2) 建築を設計するために必要な基本的事項の理解を図り、具体的な設計へとつなげる。</p>							
授業計画							
第1回	建築計画と建築設計(建築に携わる人と組織、計画と設計)						
第2回	風土・文化・社会と建築						
第3回	健全な建築計画の条件(建築と法律、建築と健康、建築とサステナブル)						
第4回	建築と人間工学(空間と知覚、空間と人間の行動、機能と空間)						
第5回	利用の計画						
第6回	規模の計画						
第7回	成長と変化の計画						
第8回	動線・寸法の計画						
第9回	形状と寸法のシステム						
第10回	建築物における事故と安全計画						
第11回	緑化と建築						
第12回	行為と家具						
第13回	デザインすることの意味、計画プロセス						
第14回	現状理解の方法、問題発見、運営の計画						
第15回	経済性の計画、公共性の計画						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
期末試験50%、平常点(小課題)を50%として評価する。小課題は各講義の要点を問題とする。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			10	10		50	30
授業外学習			テキスト、教材				
様々な建築物を見学すると同時に人々の動きをじっくり観察すること。			建築計画教材研究会編「建築計画を学ぶ」理工図書				
参考書			受講生へのメッセージ				
佐藤考一・五十嵐太郎著:「初学者の建築講座 建築計画」市ヶ谷出版社			建築家の作品集、建築雑誌、建築設計の図書に接すること及びできる限り多くの建築作品を見学すること。				
キーワード							
企画・計画・設計、サステナブル性、動線計画、安全性、社会性							